

前回部会（平成 28 年 7 月 1 日）における指摘事項及び事業者の見解

番号	指 摘 事 項	事 業 者 の 見 解
1	クラゲは漁業にも大きな影響を与えると考えられ、クラゲのシミュレーションが必要だと思われる。	<ul style="list-style-type: none">伊勢湾でのクラゲの出現動向に関する既存文献によると、クラゲの成体発生量はクラゲの付着生活期であるポリプ幼生の量と相関性が高いとされており、伊勢湾におけるポリプ幼生の分布は、湾全体の約 9 割が湾口部周辺に集中しています。また、クラゲの予測技術については確立されていない状況です。今後の環境影響評価の手續において、専門家に意見を聞く等、最新の知見を収集してまいります。